

あまらま

プランニング・デザイン・総合印刷・オンデマンドデジタル印刷・可変データ印刷
大判ポスター出力・データベース・PDF高速データ変換・CD-ROM制作
3D・CGアニメーション企画・制作



半田中央印刷株式会社

〒475-0032 半田市潮干町1番地の21
TEL <0569> 29-2525 (代) FAX <0569> 29-4500
E-mail: main@handa-cp.co.jp http://www.handa-cp.co.jp

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ http://www.akai-shinbunten.net <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社 新聞ビル

元気でてくる“ことばたち” (115)

村上信夫 (アナウンサー)



鏡は絶対見ない。「目で聞き、耳で見る」という。犬の鳴き声一つでも、目を閉じて耳をすませば、大きいか小さいか、太っているかやせているか、極

■村上信夫プロフィール
NHKチーフアナウンサー
1953年、京都生まれ。明治学院大学卒業後、1977年、NHK入局。富山、山口、名古屋、東京、大阪に勤務。4月からは、新番組『ラジオビタミン』担当。(ラジオ第一 8:30~11:50) これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。教育や育児に関する問題に関心を持ち続け、横浜市で父親たちの社会活動グループ『おやじの腕まくり』を結成。趣味は、将棋。著書に『元気でてくることばたち!』(近代文芸社) 『おやじの腕まくり』(JULA出版局) 『いのちの対話(共著)』(集英社) 『いのちとユーモア(共著)』(集英社)

目で聞き、耳で見る

タレントコロツケさん

大河ドラマ『篤姫』を見ていたら、辻に立つ瓦版売りが出て来た。どこかで見た顔だと思ったら、コロツケさんだった。コロツケさん扮する瓦版売りの太助は、黒船で来航したペリーの顔真似をしていた。きつと、当時の瓦版売りも、顔の表情を変えたり、声色を変えたりしていたのではないだろうか。もともと、歴史上の人物もレポートリーのひとつだ。淡谷のり子と徳川家康対談も実現させた。とにかく千変万化、動物も入れると、三〇〇ネタはあるらしい。コロコロ表情が変わるからコロツケとなったらしい。庶民の味コロツケのように親しまれる存在でありたいという思いも込められているらしい。

温厚か気が荒いか、いろいろ想像を巡らせることが出来る。ふだんから、よく人間観察をしている。「人の振りみて、我が振りにする」。第一印象をインプットする。レポートリーにしようなんて下心があったら上手に物まね出来ない。その人に興味を持ち、「すごい」と感心する。それが物まねにつながる。コロツケさんの物まねは、似ているようで似ていない。似ていないように似ている。

鼻をほじる野口五郎は、あまりにも有名だ。床をのけぞるちあきなおみ、ロボットの五木ひろし、ピップホップと作の北島三郎。本人がやりそうではないことを表現する。本人を知らなくても笑える。みんなが心のどこかで

感じていることを形にする。その人の個性的な部分を『過大評価』するのだが、真似る対象にオリジナリティがあつてこそのことだ。「本人に対して失礼なことをしている分、やらせていただいているという気持ちは忘れてはいけない」と思っている。極

ケロッケとしてタレントデビューを果たした。地元で、物まねの出来る介護士を務めている。人気者の姉がうらやましかった。姉が中学卒業したとたん、自己規制が取れて、物まねを始めた。初めての物まねは、郷ひろみだった。初恋の人が郷ひろみファンだったから、何とか気を引こうとしたのだ。クラス全員が盛り上がり上がった。それがたまたま嬉しかった。観客に少しでも喜んでもらいたいというサービス精神の原点になつているのかもしれない。

村上信夫
言えなかった
ありがとう。
世界でたった一人の大切な人へ
好評発売中

物まねは暗闇から驚いたことに、コロツケさんの物まねは、実は暗闇から生まれる。真っ暗な部屋で、記憶の中の顔を思い出してイメージを膨らませていく。鼻の下を伸ばしたり、あごを上下に動かしてみたり、上目づかいにしてみたり、ほおを膨らませてみたり、あれこれ試みる。

母から教わった家訓を今も大切にしている。それは『あおいくま』。「あは、焦るな。おは、怒るな。い」は、威張るな。「く」は、くさるな。「ま」は、負けるな。落ち込みそうなき、有頂天になりそうなき、自分自身への戒めとして大切にしている。幼いころは、毎日、口に出して唱和していた。今でも、紙に書いて、張り出している。エレベーターに乗っていても、最後に降りる。「開」ボタンを押して、人が降り終わるのを待っている。「どうもすみません」と言いながら降りる人から笑顔が生まれる。押しているほうも、いい気持ちになれる。



作画/イネ・セイミ

■イネ・セイミプロフィール
フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

ところ 常滑屋
とき 月一回 第一金曜日 午後一時
会費 一回 二、五〇〇円(四ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六三(三三)〇五八三

堤江実のボエム
CDでお届けします。
言葉に癒される
CD 堤江実のボエムガーデン
やさしい風がふいています。
木々の梢が光っています。
あなたの心がやすらぎで満たされま
すように。
あなたの心に喜びがあふれますように。

詩と朗読 堤江実
フルート イネ・セイミ
ピアノ はちまん正人
構成 佐藤よりこ
Disc1. 光のように
Disc2. 花のように
2003年10月22日発売
CD 2枚組3,150円(税込)

愛知県立大学名誉教授

山田正敏

『バリ島行ったり来たり』(5)



『ガルダ・インドネシア航空』で行く バリ・ジャワ島観光の旅(1)

私のバリ島への興味・関心は、すでに書いたように、「WHO調査で、世界で一番精神病の少ない地域といわれたバリ島とは、どのような地域なのか、バリ島の自然環境・生活環境とはどのようなものか、とくに子どもたちの学校生活・家庭生活・地域での生活とはどのようなものなのか」を少しでも解明し、日本の教育・子育ての「非人間化からの再生」の糧にしてゆきたい、という切実な願いに発したものである。この思いは今も変わらない。

この切なる思いを実現する最初の扉を開けた『はじめてのバリ島行き』は、本紙一月一日号に書き記したように、九二年の夏休みである。妻が八〇年代より参加していた「アジア文化交流センター」(同朋大学 宇治谷学長主宰)の観光団体旅行に同行させて頂いての渡航であった。その渡航費は、この年、名大・稲沢女子短大・県立大学での教え子、四〜五十人が祝ってくれた還暦祝賀パーティーでの「使用目的を明記した祝い金」であったように記憶している。

もともと、佛教学者宇治谷祐顕氏が、一九七〇年代より、その修復に参画・尽力された世界最大の佛敎遺跡ジャワ島中部のボロブドゥル遺跡の見学、古都ジョクジャカルタ市内観光まで織り込まれていた。いまや国連の世界文化遺産に登録されているボロブドゥルの遺跡には、宇治谷学長の功績を顕彰する碑文が建てられていると、同行の方々が誇らしげに語っておられるのを側聞し、佛敎徒でありながら、日頃より佛敎文化に無知無関心の私は、即席の関心と、一抹の不安を抱いてのツアー参加であった。

名古屋空港(小牧)からの直行使、国営ガルダ航空は、赤道を越え、八時間(時差マイナス1時間)ほどで、バリ島のテンパサル国際空港に到着する。機内は三百席ほどの定員一杯。聞いてはいたが、バリ島ブームは、もはや機内から始まっている。私の属する団体だけでも四十余り。機内には、エキゾチックな香りが漂い、スチュアーデスは、インドネシア固有の緋織り、イカットのサロンに、ガルダ・ブルーの絹の長袖の上着。役割に応じて服装は異なり、多くはイカットの半袖シャツにガルダ・ブルーのスカートと、軽快な一挙に、まだ見ぬ南国インドネ

アのバリ島の空気と人々に出会った錯覚に包まれる。「ガルダ」とは、バリ・ヒンズー教で言う最高位の三神、創造の化身プラーマナ神・成長と守護の化身ウイシユヌ神・破壊の化身シワ神のなか、ウイシユヌ神の乗物とされる想像上の鳥(鷲)の名前である。インドネシア国営航空機の名称に、イスラム敎信者が90%を占めるインドネシア共和国のなかで、唯一バリ島民の93%のみが信仰するヒンズー敎の伝説の鳥「ガルダ」の名前が、なぜ、あえて登用されたのか?

バリ島やインドネシア共和国の下調べのなかで、いくつかの疑問や調査課題をまとめたが、この疑問もその一つである。調査目的からすれば、どうでもよい問題なのかもしれないが、妙に気になる。その名称の由来にふれた資料に、一向にお目にかかれない。妻の持ち帰った機内誌を全部当たってみたが、分かったのは、「インドネシア共和国独立二年目(一九四九年)一月、ガルダ・インドネシア航空の第一便を就航いたしました。」ということくらいである。一九四五年八月一五日、日本の敗戦により第二次世界大戦は終結し、同年八月一七日、インドネシア共和国は独立。民族の自由と平和の喜

びの象徴として「ガルダ航空」を世界にそして国内の島々に飛び立たせた、ということである。今回はじめて搭乗した、ガルダ航空の観光キャンペーン機内誌(91年版)に掲載された、インドネシア観光局の記事によれば、「優美な曲線を描いて、インド洋に拡がるインドネシア群島には、1万3677の島々があり、1億7800万人に及ぶ人々が住んでいます」。西のアチエ(スマトラ島)から東のイリアン・ジャヤまでは、赤道直下の約5000キロ。首都はジャワ西部のジャカルタ。インドネシアを訪れる外国人観光客は88年が130万人、89年が162万、90年はおよそ190万人、そして観光年の91年は220万人を見込んでいる。その中でも特にアジア地域からの旅行者の伸びが目立っており、日本人観光客は88年で16万、89年で19万である。インドネシアの観光産業は、3番目に位置する国の重要産業のひとつである。現在日本からインドネシアへの旅は、その大半がバリ島と中部ジャワのボロブドゥル遺跡であるといつて過言ではない。」

ここまで読み進めてきて、同行したこの団体の観光スケジュールは、政府公認(?)の日本人観光客の典型的な旅行スケジュールであること、そして懸案のガルダ航空命名の由来が、なにかわかりかけたように思えた。それは、「バリ島」という小島が、数ある列島のなかで、観光地として古くから世界に知られたり、政府も認める傑出した観光資源の豊かな島であること。そして、その島民の大多数が信仰するヒンズー敎の最高位神・ウイシユヌ神の空



ける空想の乗り物「ガルダ」の名称を、「信敎の自由」「多称性の統一」を国是とし、観光立国を目ざすインドネシア政府は、初めての国営旅客機の名称に登用したのではなからうか?。その命名の由来を、このように勝手に推論してみた。現実、いまやヒンズー敎伝説の鳥「ガルダ」は、観光経済の「成長」をもたらす、それによる国の「守護」のために、現代科学の粋を集めた国営ガルダ航空機に「化身」し、ウイシユヌ神ならぬ私たち日本人観光客を多く乗せ、空馭しているではないか?。もしかして私たち日本人は、ヒンズー敎信仰からすれば、ウイシユヌ神に見えるのかもしれない。勝手な推論から、勝手な論証に思いは広がってゆく。

とりとめもなくたわいない事柄かも知れないが、なにか爽快な気分になった。機内サービスのアルコールの勢いだけではない。 「自分の生活に、今すぐ必要でないもの、無駄なものを、敎養と言いつてもそれは人間の中と深み、ゆとりをもたらずものだ。」と言うことを、大学の敎養部時代の哲学の講義で学んだことも、同時に思い出した。もう六〇年も前のことである。昔を語り、今の必要なことは忘れ、無駄なことにはこだわらぬ老人は、この哲学者の定義に従えば「みな敎養人なのかもしれない。」—そう思うと、またひとしお爽快な気分になった。

雲の上の成層圏を飛んでいるガルダ機の窓の外は、晴れわたり、スカイブルー。機内の日本語放送が

世界遺産検定と次の世代に伝えたいもの

私は、現在、世界遺産検定試験を受験しながら、世界遺産検定のナビゲーターをやっています。世界遺産検定試験とは、2006年よりNPOの世界遺産アカデミーが実施している検定試験のことです。

試験の目的は、多くの人に世界遺産の存在意義とその保全の重要性を知ってもらうことにあります。

すでに3回実施されており、昨年度からは、試験の区分が初級と中級に分かれています。

私はこの試験のことを、書店で見つけた検定試験のテキストブックで知りました。直感的に「面白そう!」と思い、さっそくインターネットで検索してみました。

すると、近々、検定試験のガイダンスがあることが分かり、おまけに500円という安価な費用でしたので早速申し込みました。もともと史跡を訪ねることが好きでしたから、世界遺産には興味を持っていました。わざわざ試験を受けようとはまだこの時点では考えていませんでした。

ガイダンスでは、試験の目的や内容についての紹介や模擬試験などが行われました。

話の中で特に「世代を超えて伝えられてきたものを次の世代に伝えていくことの大切さを感じ、それに関わりたくない」ということを決めました。

試験は、市販されている3冊のテキストから80%以上出題されるため、テキストを読むことから始めました。日本の世界遺産には違和感がありませんでしたが、ヨーロッパの世界遺産の勉強を始めるとちんぷんかんぷんなところが多くありました。なぜなら、ヨーロッパはキリスト教に関係する世界遺産がものすごく多いからです。

キリスト教の基礎知識が無い私には教会と聖堂の違いさえよくわかりません。だから、キリスト教建造物の様式の違いを理解するのが一番苦労したところでした。

それでも何とか、2006年の第1回検定試験でシルバール認定を取得することができた。

その後しばらくして、世界遺産アカデミーから2007年以降の世界遺産検定についての案内が送られてきました。

試験が、初級と中級に分かれ、中級はヨーロッパ、アジア、北米などの5つのエリアに分けて、世界遺産そのものについて問う試験になるとのことでした。

私は、この頃、海外の世界遺産を学ぶことで、日本の世界遺産や文化の価値をより深く知ることができると考え始めており、中級試験についても迷うことなく受験を決めました。

そして、12月の試験に向けて準備を始めようとしていた頃、世界遺産アカデミーから一通のメールが来ました。

内容は、世界遺産検定試験の実施会場が多くなり、今までのようなガイダンスができなくなってきたため、シルバール認定者に検定試験ナビゲーターをお願いしたいというものでした。世界遺産検定試験を通して、世界遺産に興味を持ってもらうことのお手伝いができるのであればと思い、すぐに「参加します」と返信メールを送りました。

その後、ナビゲーターのためのオリエンテーションが開かれました。ガイダンスの時間は2時間。1時間が「世界遺産とは何?」から検定試験の紹介について、もう1時間が模擬試験という内容です。最初の1時間で説明する内容については、使用するスライドとその内容のレジュメが配られました。まず、それを持って、実際に隣の部屋で開催されているガイダンスに出席して、だいたい必要領をつかむのです。

そして、スライドとレジュメを自宅に持って帰って練習をして、別の日に設定されたリハーサルに臨むことになりました。リハーサルは、4人で行いました。

他の人の話す内容は、色々と自分なりの勉強方法などが組みこまれていて、練習のほどが伺えました。私はというとあまり練習しなかつたので、結構あせりました。

リハーサル終了後、実際にガイダンスを担当していた方から、時間配分や内容についてのコメントがあり、もう一度自分で見直して本番に臨むことになりました。

本番は、11月13日(火)19時15分から2時間のガイダンスでした。参加いただいた方は、29名。会社の仕事で、代理店様向けの勉強会で

え合わせです。答え合わせの時に、いろんなエピソードを取り入れようと用意していたのですが、書き込んだ用紙にばかり目がいつて全体を見渡して話することができませんでした。とにかく、反省することばかりだったのですが、とてもいい経験になりました。

今年のガイダンスでは、自分の経験なども



姫路城



法隆寺中門と五重塔



東大寺大仏



熊野古道中辺路



法隆寺回廊

日本の世界遺産

それぞれの試験で80%以上正解すると合格で、2科目合格するとプラチナ認定、1科目だとゴールド認定になります。間違いないので、見落しが多くなるので、見直しが多くなります。試験終了後に解答が配布され、自宅に持って帰って、自己採点してみました。

結果は、両方とも75%しか取れず、合格点まで少し足りませんでした。もうちょっとだったので落ち込みましたが、内容が良かったのでした。気持ちが楽になりました。

現在9月に行われる第4回の中級試験めざして、受験勉強を始めようとしています。ただ、日中は会社で仕事をしていますから、帰宅後と土日が主な勉強時間になります。長い期間にわたるため、前回の受験時でも、大いに中だるみ状態になり、直前1ヶ月で集中して勉強しようとした状態でした。

だから、今回は、そうならないように色々方法を考えてみました。ひとつは、世界遺産に関係するブログを継続して書くことです。前回の試験前も、勉強した内容をブログで発信していました。でも、試験が終わると書くことが無くなりだんだん更新回数が減ってしまいました。

だから、今回は、試験勉強の内容以外に世界遺産のイベントや新聞記事などについても、文章の長さにかかわらずいろいろな書くことを考えています。

とにかく、意識して発信することで、自分のモチベーションを維持していこうというわけです。

もうひとつは、出会った人に必ずこう言うことにしました。

「私は、世界遺産検定ナビゲーターをやっています。そして今年の9月の中級試験で合格します。」

いろいろな人に言っていますから、後には引けません。

そうやって、絶えず試験を意識するようにしています。

今は、9月の中級試験に合格することが当面の目標ですが、その後のことについてもよく考えたりします。世界遺産のセミナーに出かけた時のことです。

テーマは、日本の世界遺産についてでした。その時の講師の方の一言が深く心に残りました。

「有名な世界遺産は海外にたくさんあります。でも、まず日本の世界遺産に出かけて、実際に体感してみてください。法隆寺に行けば、鳥人が感じた空間です。エンタシスとか考える前に柱に手を回してみてください。柱の太さを感じることが出来ます。そういう風に日本の世界遺産の素晴らしさに直接触れてみてください。そうすると、海外の世界遺産を訪ねた時に受け止めるものも各段に違ってくると思います。」

学ぶだけでなく、実際に触れて、体感して初めて、多くのものを受け取ることが出来るのだと実感しました。私自身もひとりでも多くの人に「行ってみようか」と思ってもらえるような活動をしていきたいと考えています。

自分が出かけて体感した内容に、そこで触れた祖先の生活や風習、言い伝えなど、私たちが失いかけている大切なものも盛り込んで伝えていきたいと思っています。

日本に14個ある世界遺産のなかで、沖縄、屋久島、石見銀山、白神山地にはまだ行けていません。こちらにも、近々出かけたいと考えています。



武田 光司

①email>takekimi@km.sub.jp
②ブログ>世界遺産ナビゲーター事務所
http://blog.jp/sekaiheritage.com
③メルマガ>本から峠の向こうの日本をみよう
http://www.nag2.com/m/000177710.html

知多の動植物雑記(二二六)

原 穰

五月に入れば道ばたの草や木の花、虫さんたちをみつげよう」といったテーマのもと、知多の各地で親子の観察会が始まる。寒さも和らいだ四月初旬観察会の下見の名のもと桜見物に。知多半島を巡る桜見物は、どこもかしこも実



ヤマモモの派手な雄花と地味な雌花 たとベンチに腰

を下るせば、正面に花咲き誇るヤマモモの木が。近寄れば、二・三センチの茶褐色の毛糸をばくして、何本も束ねたような花写真左が一面に。ヤマモモの赤くて丸く美しい実(写真右下)からすれば、花もこんなかなとカメラに収める。

ところが、家へ帰って凶鑑を開けば、「房状の花は雄花」ヤマモモは雌雄異株で雄木の花に実をつかない。「雌花は細い棒状で、長さ一・二センチ」とある。

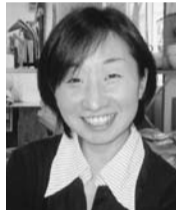
「雌花は細い棒状で、長さ一・二センチ」とある。だつたら雌花を見た以前、実のなっていた丘陵地のヤマモモの木を見に行くも何故か花はない。近くの公園へ行くも同じこと。

かくなる上は、知多市在住の樹木に詳しい鈴木操氏に同行を依頼し、市内各地を巡るも雌花はなぜか見つからない。では旭北小なら以前見たことがあるから多分、と尋ねれば、あつた！雌花だ！(写真右上)目的達成！さすが操様だ！と感謝感激の日であった。

目をもう一度見詰め「五枚！」の答。「正解だヨ」と言えば「花びらの下が二つに分かれている」と答える小学生の鋭い観察力に感動！である。

といった思いを胸に、再び桜の花巡り。満開の桜の美しさに大満足。ちよつと疲れ

ちよつとおじやまします 陶芸家 武知かつかさん



会社を退社した。焼き物が大好き。焼き物が趣味と自覚していたはずなのに、趣味が高じて陶芸家としての第一歩を踏み出したのはつい最近のことだ。生まれたばかりの子どもの背負い、共栄窯セラ

手描きだからこそ一点ものよさがあると思ひます」と、自らの作品について彼女は語った。器の内側、裏側、正面と、どの角度から眺めても桜を見ることができ、彼女は一点一点手を抜くことなく、絵付けをする。うっとりして、つい見とれてしまう。その一点一点が異なる、桜の精神美は、どれも気品に溢れていた。

これとは対照的に、イメージは分かっていませんでした。曾原北遺跡の粘土採掘跡の粘土は青灰色や赤色の粘土が多く、白色に近い粘土は少ないといわれています。

そこで注目されているのが白色の粘土です。知多半島の粘土は青灰色や赤色の粘土が多く、白色に近い粘土は少ないといわれています。

この窯焚きの手法のほかに白っぽい灰色の焼き物を焼き上げるには、原料の粘土の選択が必要です。

この粘土は、窯跡に詳しい陶芸家による焼成実験で作陶用の粘土であったことが確認されています。

この粘土は、窯跡に詳しい陶芸家による焼成実験で作陶用の粘土であったことが確認されています。



曾原北遺跡の粘土採掘跡

この粘土は、窯跡に詳しい陶芸家による焼成実験で作陶用の粘土であったことが確認されています。

この山仕事を失った室町時代以降、彼らのはぐんだ窯場の作業が後の大野鍛冶や土木作業に長けた黒鉄集団に生かされてつづけたことと見られる。

吉田信義展(七日) 吉田信義(栄一展) 九日(栄二展) 十日(栄三展) 十一日(栄四展) 十二日(栄五展) 十三日(栄六展) 十四日(栄七展) 十五日(栄八展) 十六日(栄九展) 十七日(栄十展) 十八日(栄十一展) 十九日(栄十二展) 二十日(栄十三展) 二十一日(栄十四展) 二十二日(栄十五展) 二十三日(栄十六展) 二十四日(栄十七展) 二十五日(栄十八展) 二十六日(栄十九展) 二十七日(栄二十展) 二十八日(栄二十一展) 二十九日(栄二十二展) 三十日(栄二十三展) 三十一日(栄二十四展)

若竹俳壇 作品募集 毎月十日までに集めて 発行所へ

吉田ひろし 青岡 光代 平賀たつ子 竹内すゝ代 富田 悦子 中村 克己 桑川 撫子 河瀬四四子 林 京子 浦崎ひとみ 馬場 利明 竹内三彦 幾世八千代 澤田 藤子 久田 篤 谷川 利子 中野まち子 曾我部和美 平野 紀江 やました悠 滝田 結美 杉山 和美 村井 範子 荒川 達雄 山中 博子 渡辺 民子 柴山 庄山 大島 洋子 竜三

ラジオビタミン Radio Vitamin 毎週月曜～金曜 朝8:30～11:50 ON AIR

おもしろ児童館 母の日のプレゼント作り 母の日(六日)火休 午後一時～三時

吉田信義展(七日) 吉田信義(栄一展) 九日(栄二展) 十日(栄三展) 十一日(栄四展) 十二日(栄五展) 十三日(栄六展) 十四日(栄七展) 十五日(栄八展) 十六日(栄九展) 十七日(栄十展) 十八日(栄十一展) 十九日(栄十二展) 二十日(栄十三展) 二十一日(栄十四展) 二十二日(栄十五展) 二十三日(栄十六展) 二十四日(栄十七展) 二十五日(栄十八展) 二十六日(栄十九展) 二十七日(栄二十展) 二十八日(栄二十一展) 二十九日(栄二十二展) 三十日(栄二十三展) 三十一日(栄二十四展)

わが家のニューフェイス



永野 希奈(5才5ヶ月) 美桜(5ヶ月) 武豊町金下

愛とMy Family



榎原 璃美(1才4ヶ月) 常滑市山方

写 真 ・ 文	な の ♡	よ だ か ら 、 未 桜 は と っ て も 幸 せ だ	り す る と み ん な 幸 せ 顔 に な る ん だ	し や ベ リ も 大 好 き な の お し ゃ べ	ニ コ ニ コ ♡ な だ よ 。あ と ね お	く れ る よ 。だ か ら 未 桜 は 、 い っ つ も	い な い 時 は 、 マ マ と い っ ぱ い が 遊 ん で	る ん だ あ 。お 姉 ち ゃ ん が 幼 稚 園 で	い っ ぱ い 遊 ん で	あ ゃ ん が 大 好 き な の	桜 で す ♡ 未 桜 は お 姉	は じ め ま し て 、 未
------------------	-------------	---	---	--	---	--	---	---	---------------------------------	---	---	--------------------------------------



写 真 ・ 文	し て 怒 ら れ ち ゃ う の ♡	て も ら う の 。	る こ と だ よ 。	だ も の ♡ 遊 び で は 、 ブ ラ ン コ に 乗	と 海 苔 だ よ 。	の お 気 に 入 り の 食 べ 物 は 、 み か ん	子 を 見 て い ら れ る ん だ も ん ♡ 最 近	に 撫 ま っ て い る と パ パ と マ マ の 様	に 撫 ま っ て い る と パ パ と マ マ の 様	の 青 い て す り に 毎 日	璃 美 で す 。 最 近 は こ	皆 さ ん こ ん に ち は
------------------	--	----------------------------	----------------------------	---	----------------------------	---	---	---	---	---	---	--------------------------------------



デュプロ販売株式会社 (名古屋) 東海・北陸地区発売元 EVOL

デュプロはコンピュータネットワークを活用した、お客様の新しいビジネススタイル"e-BUSINESS"を提案していきます。



情報を美しく。デュプロ

Duplo®

デュプロ販売株式会社

〒460-0015 名古屋市中区大井町4番19号 TEL(052)321-2020

知多四国めぐり 関連書籍販売しています



プランニング・デザイン・総合印刷・オンデマンドデジタル印刷・可変データ印刷PDF高速データ変換・CD-ROM作成・Data Base・CG制作

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL(0569)29-2525(代)
FAX(0569)29-4500
URL http://www.handa-cp.co.jp
E-mail main@handa-cp.co.jp

グループ会社

プリ・テック株式会社 ● プリテックメディア株式会社 ● トーヨー印刷株式会社